03
YOUNG KING COMICS
JYOSHI GO SEI
KEYAKI UCHI-UCHI
女軍師
内々けやき

03

YOUNG KING COMICS

JYOSHI GO SEI

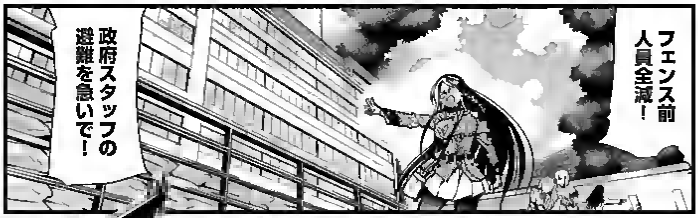
KEYAKI UCHI-UCHI

内々けやき

8年ぶりに
起きた謎の女
西海天河
初シュー。

jyoshi GO sei 女子轟生

ドォン
ドン
第13話「女子劫力」
政府エリア
ガードフェンス前
最終防衛線


フェンス前
人員全滅！
政府スタッフの
避難を急いで！

ドン

ドォン

羽馬霧子（ばばきりこ）
来ます！

思ったより早い……！
しかしッ！
天の裁きを待ってはおれぬ!!
四肢に十六
五指二十
重ね三十六計
仕掛を手繰り
暴虐の輩
背逆の徒
其を律し
正すが使命の
天権星！

新波解放委員会
委員長　新藤珠美！
その野望！
その増長！
最早見逃す
わけには行かぬ！

羽馬霧子……！
覚悟っ！
来たかッ
新波解放委員会
委員長 新藤珠美
彼女の能力は
高振動！
触れた物に
振動を与える事で
それらは鋭い刃と
化す！
ズバッ

羽馬さん！
お前らは二班
三班の加勢に回れ！
酉州（とりす）蘭（らん）の相手は
きつかろう！
こいつは私が
受け止める！

どんな理由で動いたのかは知らないけどッ！
しゅばっ
不可侵の政府エリアに手を出せば
しゅわっ
いずれ数で勝る彼らに討ち滅ぼされるは自明の理
即刻手を引けそのまま帰れ！
可笑しいなァ
解放を名乗る人間が唾棄すべき普通の人間持たざる者を守る立場にあるなんて
だからその為に外交をしてきたと！
外交？　笑わせるな！女子供がごっこ遊びで顰ぎ立てるのを見て本土の連中は笑っているんだぜ
ドドド

自業になっている？
違う 羽馬霧子は
そんな人間じゃない
ならば動けるだけの
何かを持って
動いたんだ…
カマをかけて
みるか…？
知っているわ
ブースターの隠匿！
それを使って貴方は…！
トン
そんなもの
実在しようがしまいが
最後の抑止力に
なればいいのさ
私たちが
集まればもっと
いろんなことが
出来ると
思わないか？
ブースター
以外にも
何か…!?
!?
ゴゴゴッ
世迷言ッ…！

おしゃべりしてる間に仕掛けはすんだか？
！
その体 書類仕事で鈍ってなけりァ掛かって来い！
こンのっ……
お舐めじゃァ無くってよ！

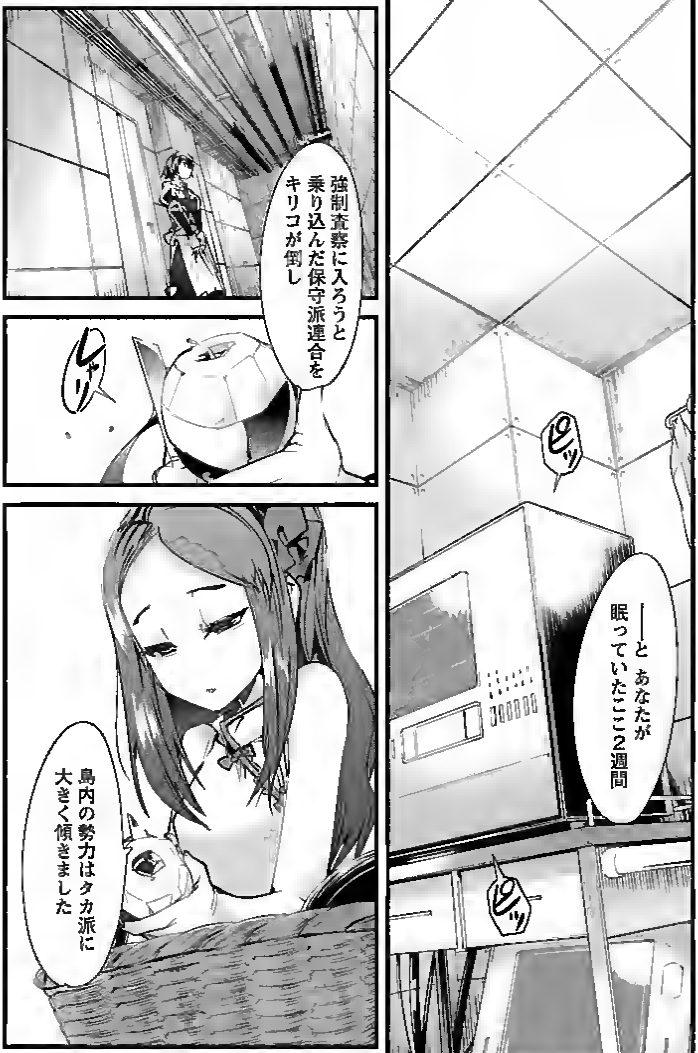
〝糸〟から発動する
振動で飛び出す
暗器群！
そこで大人しく
なれば良し
凄いだとしても
その間隙を縫っての
糸が敵を切り裂く！

これこそ
胡弦震血陣！

誘い込んだなァ！
それで！勝ったつもりか
直進!?馬鹿な！
前に塞がる物は全部！ぶッ燃やす！
溶けるが熱波！
私の力は届かない！

医療班！
ああもう！
首チョンしてたら
どうすんすか！
無茶しすぎですよ
羽馬さん！
見たか！
我が同胞
文句のある奴は
掛かって来い
私が全部受け止める
その上で
叩いて…砕く！

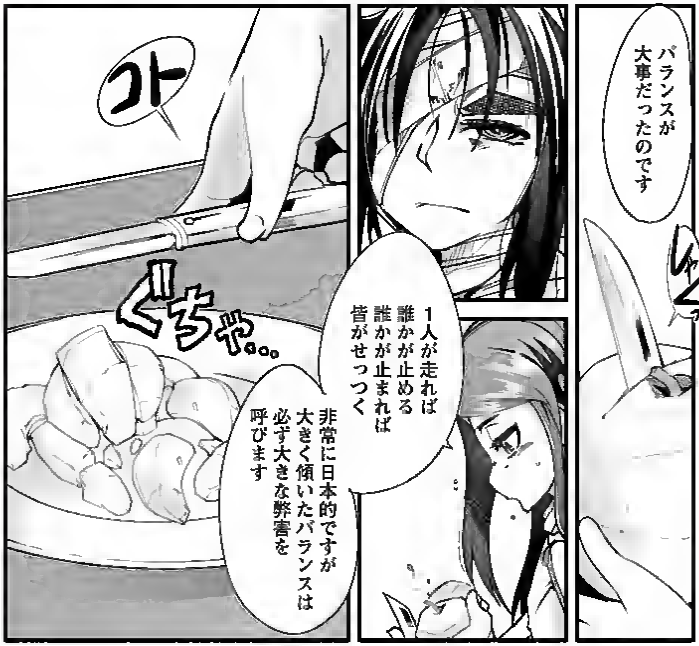
それは喧伝と
なるだろう！
お前たちが
付いて行くべき
人間はここに居ると！


ピッ
――と あなたが
眠っていたここ2週間
ピッ
島内の勢力はタカ派に
大きく傾きました
強制査察に入ろうと
乗り込んだ保守派連合を
キリコが倒し
ドッ

火斬ら強硬派
連合勢力は
そのまま政府施設の
エリアまで侵攻
百地
羽馬
最後の力を
振り絞っての
保守派連合の
抵抗空しく
島内を掌握すると
すぐさま世界に向け
独立宣言を放ちました
能力者の
国を作る！

事を重大に見た政府
この島に介入
したがっていた某大国は
すぐさま内々に 対抗措置を
仕掛けましたが悉く失敗
逆にそれを宣伝材料に
使われ島内の人心は
キリコに集まります
ピッ
それを…
ピッ
ピッ
それを私に話して
どうしようってんだ…

いい事だらけじゃねえか
霧子さまの庇護の御下で能力者の未来は安泰
万々歳だ


バランスが大事だったのです
1人が走れば誰かが止める誰かが止まれば皆がせっつく
非常に日本的ですが大きく傾いたバランスは必ず大きな弊害を呼びます
コト
ぐちゃ…

キリコは確かに
最終的には
能力者の国を
作るかもしれません
しかし その為には
大きい犠牲が
出るでしょう
生意気に
兄貴みたいな事を
言いやがる…
はむ
あ
自分で
食うんだ…

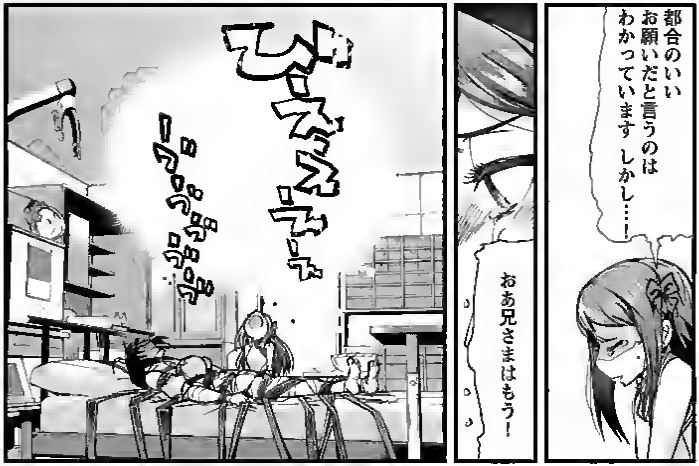
おあ兄様は
もう居ないのです
もう 彼女を
止められるのは
貴方だけ……！
…完璧に負けて
相棒を失い生きさらばえ
治療をしてもらう
私にこれ以上
霧子に立ち向かう
理由はないよ

それにほら
お前も
聞いているだろう
あたしの能力は
もうからっけつだ
ピッ
ピッ
能力者に備わってる
復元能力も
働かないほどに
お医者様は
精神的なものだと…

まだあたしに何かさせるつもりなのか
お前の役割はなんだい 姫子
霧子の側じゃあないのかい
私はただの抑止力です
実際に使われる事無く脅威であり続けるための存在
それ以上でもそれ以下でもなくただ飼われるだけの存在
自由になりたいならそのまま外に出ればいい
この能力を持つ者が外界に出た所でどれだけ命を長らえる事が出来ましょう
おあ兄様と智お姉さまと一緒に過ごした期間が一生ものの大冒険だったのです

そんな悲しい一生が
あるかよ
すごい能力だったら
姫子 お前の力で霧子を…
いけません
キリコには大恩があります
キリコに能力は使えません
元居た場所からここで
保護してもらっている恩
そこに比べれば
ここは天国なのです
それにキリコは
仲間には本当に
優しいのですよ

だからぶん殴ってでも
止めなきゃならねえか
ガキャッ!
お前ら兄妹はそうだ
人にやらせて
自分はうごかねえ
ガチャッ
ガチャッ
ガチャッ
ゴフッ
あたしが相手を殴る
この手は
痛くないとでも
心は痛まないと
でも言うのか?
クソッ!
自分勝手な
ことを言って……!


都合のいい
お願いだと言うのは
わかっています しかし……！
おあ兄さまはもう！
ぴぴぴ

いやもう死んでるのか…？
これは死ぬまでここに？
むういかんな…
したような…
声…智と姫子の声が

俺は穴に落ちて…
……
なんて一生だ
人を守れず
目的も果たせず
女に頼りきりだ
……ろ……
寂しいなあ
1人は寂しい…
武
あなた 一人じゃ
ないでしょうに
さっきから
聞こえる声
あなたは？

武武
ここにいて ようやく
あなたを感じます
ふふ
世間話でも
したいのですけどね
あまり多くの
時間 ここには
繋げないのです
今ならあなたと
縁の深い人物の下
出られるように
道を開けます

体感時間と現実時間に差異が出るでしょうが
問題はありません そのまま
大事な人のことを念じて…
大事な人…？
智？ 姫子？
それより 貴方は…！

力を使ってしまうので
これから暫く
会えませんが
あなたに触れる事が
できる日を
楽しみにしてますね
武
母さん…？
母さんなのか!?
せめて顔を…！
いや違うここは
場所を聞くだろう
もっと声を…！
理性的に考えたら
居場所だろ
母さ……！

いっ!?
ごごごごごごご
……
ぎゃあ!
おおおっ!?
ぎゃあ!
ドドドドド

jyoshiGOsei
女子転生

この〝国〟に未だ干渉をしようとする不貞の諸君
〝国〟として歩もうとする我々に背中を見せる不実の諸君
我々をただ利用しようと手ぐすねを引く不遜の諸君
さあ準備は整った！

見やれ紅天(こうてん)
動けよ歯車！
天地四方の理(ことわり)を
全て束ねて
書き換えろ！

第14話「女子雌伏」

号令！
選抜された能力者
５００人を収容する
巨大装置が
音を立てて作動した
兼ねてより
能力者同士の乗算的な効果に
目を付けていた
羽鳥の研究の成果
1人1人の
小さな能力を束ね
重ね 掛け合わせ
泉をぶどう酒へ
昼を夜に
魚は空に 鳥は海に
世に漏く事象を操る事を
目的とする装置が…！

惜しむらくは
万能とするためには
まだまだ人数が
足りんと言う事だな
まぁ それもおいおい
世界の同胞を
解放すれば
今に すぐに
まずは主要国の
衛星を1つ2つ
此方側の
コントロール下に置く
話しかけても
無理ならこっちを向いて
貰えるような事を
しなくてはな

ピピピピ
SIGNAL LOST
ピピピ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
アクセス成功！
羽馬さん！
成功です！
うし！
繋げられる内に
情報を渡えるだけ
渡っとけ！

ナ
羽馬さん
どちらに
寝る
ここ1週間は
眠っていない
あぁ…
会議は
どうされます
ゴゴゴ
今日ぐらいは
お前がやってみろ
えっ！
ええ――っ！

そういえば
ここは火斬本部
…なんだよな
南条さんらは
どうした？

抵抗派は地下へ
潜っています

しかし 手傷を負う者
捕まる者と その戦力は
僅かだとか…
ふむ…
智のこの傷
どうにかして
外の抵抗派に
連絡を取らなくては…
カリカリ

あたしの傷が
どうかしたって？
智……！
ふふふ…！
ふふふふうう
ふふふうう!!
戻った！
戻ってるぞ！
これは……！
所謂（いわゆる）
愛の力ですわ……
おぉ
愛とか言うな
恥ずかしい！

そ そうだ！
1週間前に
各地域グループの統合が
あった際に武具類の
接収がありました
ガッ
食わせろー
ガッ
ガッ
ちょうど火斬の
保管庫に
あるはずです
そ そうだな
武具類を
持っていけば
多少は有利に…
ひとまず保管庫へ
それから
それから…！
…どうするんだ？
俺は
？
こおんな
世界的な大事になって
まで まだ首を
つっこもうって？

霧子が悪か？
姫子や智が
正義の味方か？
あるいは全く
反対の事をやっている
かもしれんぞ

俺は能力者達の
革新を止める
ただの邪魔者で障害
あるいは英雄霧子の
ための試練か？

違う

そんな事は
もう関係ない

俺は　俺は
この俺の手の届く
奴らだけは守るために
考えるだけだ！

？

保管庫は地下に
キリコはもっと下の
装置付近で
政務をこなしていますわ
さあ
行きましょう！
あ ああ！
そんな事は
させませんよ 姫
日和子……！
一部始終ある程度は
伺っておりました
なりません

私は
キリコを止めたい
それだけです
霧子様の庇護の下
姫が生きておられる
という事は
ご自身で分かって
いるはずです
この体制が
崩れたら
なんとします
姫はどうして
生きて行かれる
のですか
なんとなれば
この命
自ら断つまで！
その意気正しく
頑迷と言う物で
御座います

身体髪膚これを
父母に受かれば
敢て毀傷せざるは
孝の始め
御身を大事に
なされませ
ここは日和子に
お任せを
ん～
はん！
なんとなりゃァ！
あたしが
守ってやる！
親兄弟の契を交わしゃ
六道苦界を流離えど
双手離れる筈もなし！

さっきまで無気力の塊だった人がよくもぽんぽん啖呵を切れる…
しかし
嬉しい事を言ってくれるものです
おこがましいようですが
姫には姉であり母であり家族のつもりで接して来たつもりでございます
賊の手から姫を守るのは私の役目！
てめぇ……！
ゴゴゴ
やるかやりますか!?

ビクッ
だまらっしゃい！
ビクッ
どっちも
私の家族ですわ
いえ キリコだって
そうだと言っていい
大切な姉者兄者妹者！
それを止めねば
ならぬのは
子供の固持では
ありません
そうであれ
と思った日から
皆がキリコ1人に
期待を寄せて
それに応える
キリコが磨り
減っている姿を
見るのはあまりに
忍びない
…
復讐心と
責任感で動くのも
限りがあります

キリコが
燃え尽きる前に！
彼女を救いたい！

ちょうど
轟から
接収した武具が
届いた所です
……保管庫は
2階下です
日和子……！
私はそうですね
貴方がたに脅された
と言う事にでも
しておきましょうか…
ｶﾁｬ…

いと久しく
壮健を！

ぢゅうう

カニ

バリーン！
カニカニ
カニカニ

びえええぇ
今生の別れみたいに
言わないで下さいよぉ～

ここに来て
生気が
満ち満ちている
ばさ！
重圧がまた
ふふ…はははー
眠れるかよ！

スペア甲冑類の保持は
皆の生気でサポート
多目的防御マントは
伸せで着用
そしてこれは…
南条さんが
作っておいたのかな…？
これは…！
エエイ
詰め込め
詰め込め
おいおい
そんな適当で…
保管庫
N-8
N-8
おお!!

ああ
なんつうか
これは…
趣味ですわ
ねえ
趣味かなあ
趣味だろ

しかし こんなに
積み込んで
どうするよ
ガラ
霧子と
やるんだったら
出来るだけの
事をやっても
足りない事は
ないだろう
それに今の
智なら…
ごにょ
ごにょ
ふふん
それをあたしに
やってみろってか
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

会議っても何だ
その実 火斬幹部で
進められちゃあな
全く
クソッたれだぜ
こんな事なら…
もうなってるか
あはははは
独裁体制に
ならないように
私たちもなんとか
いいところ
見せないとねぇ

おっとお
ふふふ
早速
霧子の姉ちゃんに
功を立てる
チャンスが来たぜ…
しゃり

分銅ッ！
小松かァっ!?

それだけじゃないよ！
我身は鉄
我心は空也
闇に生まれて
闇に消え
何も残さぬ
この定め
天の七星天璣星
この名も空と
斉しく思え！

第14話／完

ラストラン
やったか!?
ガラ…
やったにきまってんでしょー!
ひひ!
でもぉ 念は
入れときましょうね!

ふふっ！
あはははっ！
どおおおよっ！

おいおいおい
この女 人ンちの庭で
よくやる…！

百地空襲 誰か
“情緒に難有りだが
忍術 格闘技 ストーキング等
あらゆる戦闘技術に
抜群の技量を有す”か
とはいえ だ！

火斬の庭だから気兼ねもねえわな！
ヤるかあっ！
十指細深！

第15話「女子烈風」

流れ着いている間に
色んな事を考えた
そりゃもう
駄目かなとも
思ってたけれども
それでも もう
一度霧子と
相対した時に
どうやったら
勝てるか
なんてな
ぱ〜〜!
秘策は3つだ!

はァ!?
おいおい!
手ごたえが変だ!
お人形で叩いてっからわかんねえのか!?
あたしは触れたぞ!
あいつら何かしている!

来るぞよ！
な…おおっ!?

こっちゃ
コブ付き
なんだよ……！
あれを
凌いだってのか…？
轟腕ッ…！
気は
済んだかッ……！

小松さんよ！
羽馬を倒そうって
ハラじゃ
なかったのかい!?
賢い生き方を
しているって
といってくれよ
寄らば大樹の
なんとやらって！
厄病風に
吹かれたね！
こらこら！
お喋りの時間は
もう済んだよ！
2対1って状況！
忘れてもらっ
ちゃア
困るッ!!

先を急いでるんだ
余計な傷は
御免だね！
まだお前らには…
これしか
見せない！
ぎゃ！
ぐらぐら

きゃ！
わ！
なんだぁ…!?
生きる命を固めて手繰る！
これが!!

轟手甲変異操法！

聞いたか 百地
うん
ガラ
あすこにいる女は 出し惜しみをして アタシ達2人に 勝つつもりらしいぜ
笑えねェか
負けた女が いきがって
わらえないよ！
ムカつく!!
だなあ！

頼むぞ武(たける)！
次の作戦だァっ!!!

それだけでは
キリコには
敵いませんわ
姫子に？
おあにいさま
おねえさま
あの これを
ぱかっ
通信機……！

幾年万里離れよと
何かの力で惹かれあう
その力
その結び付きを
固めて固めて
あなた方は2人で1つ
これで もう誰にも
誰にも
誰にも
負けない!!

ガラッ
いなされてるだと!?
2人掛かりでだぞ!?
もうちょっとしっかりやってよ!
こっちの台詞だバカ野郎!

まるでこいつ…
1秒おきに
進化しているような……！

3

ヒュッ
ザザザ
ザザ
ザザ
!
トトト
ザザザ
ザザザ

あァ…
おじいちゃんの
小太刀がァ…

びぇえええ
びぇえええん
戦意喪失――だな
いいのか？
いいさ行こう
ぶん殴らずに済むならそれでいい…

ドゥムッ!!

?
ジャラジャラ

どわあああああっ!?
きゃあああああああ

もういいよ！
バカ！ バカ！
ひゅ～～
落ちちゃえー！

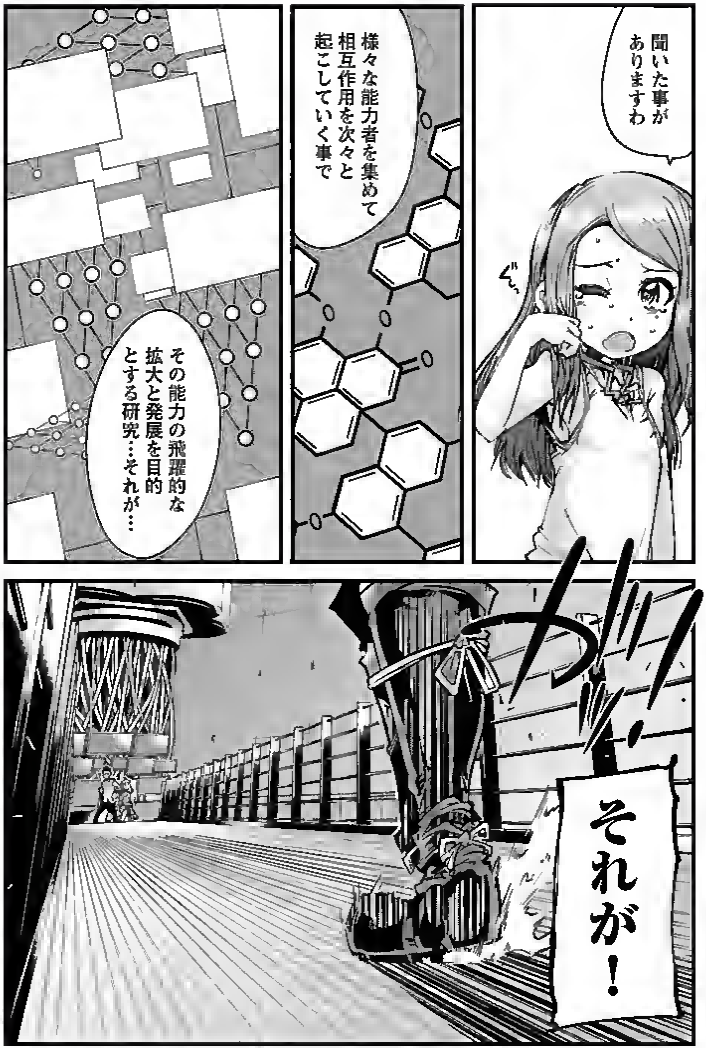
まあしかしアレだ
霧子が下に居るってんならこりゃ近道かも知れんな
お前も落ち着いてるね
受け止めてくれるんだろう？
ヒョオオオ

jyoshiGOsei
女子転生

第16話

びいいいいん……
ぱら…
ふ…
ふ…
おいおいおい
おい 姫子が 壊れたぞ
怖かだよォ～
びえええええ

なんだァ ここは…？
でかい 装置だ…
こんな物が 地下にあった なんて…


聞いた事がありますわ
様々な能力者を集めて相互作用を次々と起こしていく事で
その能力の飛躍的な拡大と発展を目的とする研究…それが…
それが！

全てを役し
廻して正す
天極廟！
よくも
ここまで来る！

羽馬霧子……！
ぱっ！
やはりお前らか
何故
邪魔をする？
子供の言う事に
絆されたか
ぎゅ
強行が
過ぎるんだよ
そんなに硬くっちゃあ
動くものも動かない！
ぐっ

そんな今時
侵略みたいな事が
何時までも
出来るわけがない！
その追い詰めた
みたいな顔が
気に入らないな
私が全て悟って
諦観し
殺戮でも
踊ってみせれば
気が済むのか？
ン？
これはな
この装置を壊して
終わりみたいな
話じゃあない

我々能力者の
尊厳を掛けている
中に入っている
能力者480名
全員が志望して
明日を望んで
ここに居るんだ
そいつらの期待を
裏切らない為にも
お前らを
燃やす

期待 希望
明日 尊厳！
口触りの良い事を言ってはいるがな！
武よ 姫子よ こいつの
こいつの 赫灼とした瞳は こう叫んでるぜ
〝自分をここに落とした世界をただただ ぎゃふんと言わせてえ〟ってな！
所詮は 私の怒りが 発端よ
だから だったら 私たちも 足を引かず
胸を張って こう叫ぶんだ！

天に轟け地に響け！
不壊七生の脈動よ！
遠くの者は
音に聞け
近くば寄って
目にも見よ!!
腕一本で
掴んで取るは
天の七星揺光星！
あたしの
名前は
〝轟腕〟！

東堂　智!!
もう遊ばないぞ
最初から
殺す気で行く!

第16話「女子泡沫」

ドドッ

熱ッ
ちいッ
後ろに行くぞッ！
はいっ！
姫子を巻き込んでも構わない攻撃だった…！
本気だってことか…！
ドーン
しかしやはり
ドーン
俺の予想が正しければ
ミラー！

行けぇッ！
ドド
ドドドド
ドドド

ゴ
オ
その腕を飛ばしてくる奴！
そおおンなんでッ
私を
倒せると思ったかァッ

よッ!?
ドロ

ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
やっぱ強ぇ!!
爆炎で近寄らせてもくれねぇ…!

そうだ！
響子の能力は炎！
そして一番の
脅威になるのは
“炎を
飛ばしてくる
攻撃”だ…
ボォッ
任意の場所に
“燃焼する力”を
作り出して後
着火することで爆発
衝撃を敵に与える
のだと見る
ドッ

ならば
ゴクッ
棒立ちで寄ってくる！諦めたか!?
ばしゃ
ばしゃ
ドッ
頭から上を狙わせてもらうッ！

ウゥ
ドォ
キィィ
燃え…ない!!
ぴぃー

火は出る…！
ボッ
爆発しないんじゃない！
何かが
ぼしゃっ
何かが
轟腕の周りで
きらきらと
光っている…！
ぼしゃ
轟腕の周りだけ
火が着かないんだ…！

ならば
着火そのものを
防げば…!?
間断無く 体の周りを
薄くて小さな泡で
包むイメージを広げるんだ
空気の入る隙間も
無いくらいに……!

これが霧子対策其の2！
最早(もはや)不器用なインファイターじゃない！
着火を防げれば…！
智(とも)の間合いに入れれば…！

霧子に届く!!

いかん
衝撃を……！
ムン
逃がさねぇッ!!

キリ
キリ
キリ
シャシャシャシャ

キリコおッ!!
ゲラ
もう決着は付いたでしょうッ?
早くキリコを助けてあげてッ
グッ
こんなもんじゃあないだろう
人1人の想いとか信条をブチ折るには
お前が思っている以上の力が要るんだ

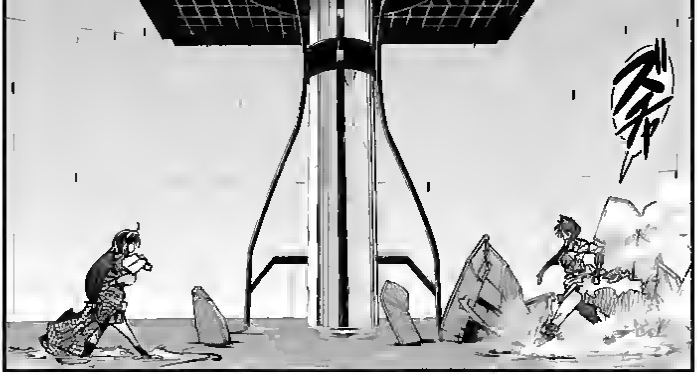
ああ
道は違えど
能力者達丸ごと
抱えようって女だ
最初ッから
こんなもんで
済むとは
思っちゃあいねぇ
そうだろう！
ブオ…
ブオ…
〝紅煉〟の
羽馬霧子!!
ゴゥ…
良くわかってる
じゃあないか
ガラ…
ばらっ
ばしゃっ

第16話／完

jyoshiGOsei
女子転生

第2ラウンドだ…！
くそっ！
決められなかった…！
キリコ 血が出てますわっ！もう降参してぇっ！
いやいやいやそんな生易しいもんじゃねえぜこの女
地力はもとよりあたしの倍以上だ
こうやって前に向かって立つだけで…

食われそうだ
だから俺たちは
奇襲作戦…意表を突く
戦い方しか出来ない
正攻法で
戦えば負けるから…！
本来は これで
決めておければ
ベストだったんだが…


ズガ

あの時も
今も そうだ
詰めが甘いのさ

チャンスが
在(あ)っても
押し込めない

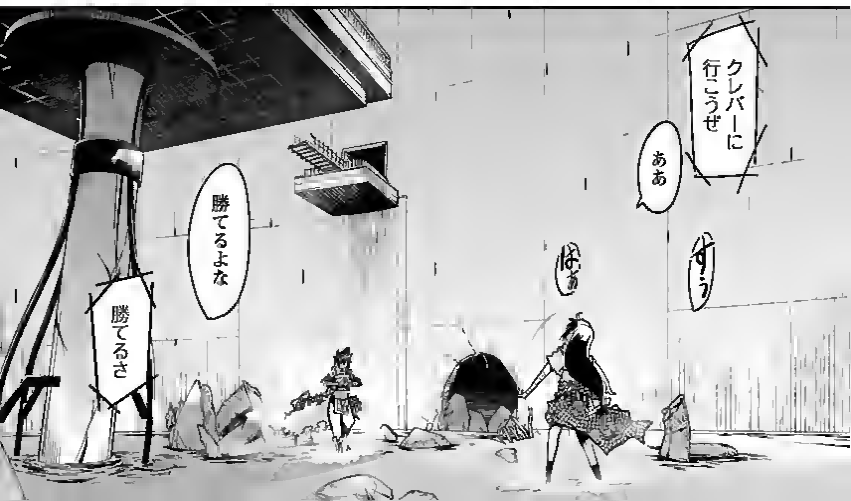
それが お前の
地力と言う事だ

確かに爆破を上手く押し込めたつもりだろうがな
フッ
フッ
このフィールドを作るのにどのぐらいの力を使った？
今も使っている？
フーッ
少し意表を突くのに注力し過ぎてなぁ
力が分散してるんだよ！
ばしゃ
ばしゃ
ばしゃ
ばしゃ
あたしは簡単だ！
もう近寄ってぶん殴る！
そして接触から！
ばきん

燃やす！
うおおっ!?
アヂッ
熱ッ
ぢいいっ！

智！舌戦に飲まれるな！
ダメージを与えているのはお前だ!!
更に霧子はそんな事を言いながらだ
攻撃を防ぐ事が逆に相手の気持ちを引き締める…！
此方が少しでも気を抜けば攻撃手段を再びスイッチしてくる事は間違いない！
遠距離爆破に

だから
落ち着かせる
智
呼吸が浅い
深呼吸だ
鼻から吸って
口から出せ
すぅ
はぁ


クレバーに
行こうぜ
ああ
勝てるよな
勝てるさ

お前はぎりぎりに
張った弦だ
しなるも折れぬ銘弓だ
俺に力が
ないのなら
代わりに
頭をくれてやる
ああ そうだ
あたしを使え武
オーダーは
全てこなしてやる
この血液は
お前の拳
この右腕は
お前の耳
この心が
お前の筋肉だ
2人なら

第17話「女子激闘」

後ろ……！
呪わずだけじゃアッ

豪腕が
足技主体!?
案外決まってンじゃア!
ね

そんな牙があったとはな…！
隠してたなてめェ…！
ちっげーよ！
下着見えたら恥ずかしいだろうが！
そんな理由だったのか…
スデにもうでてわ

ははははは！
この期に及んで
ふざけた奴だ！

おおおお

負けるかぁああッ!!!

殴り合いと行こう
ヤバい
グっ!?

マズい！
体格差や能力の格差
更には普の張っている
フィールドに
割いてる力
あらゆる面で
正面からの
殴り合いは
此方の不利だ!!

智ッ！
ばしゃっ
智――ッ!!
あ・・・
これは
マズい奴じゃあないのか・・・？

血が
血が
あの時みたいに
流れる

これが
走馬灯？
あの時？

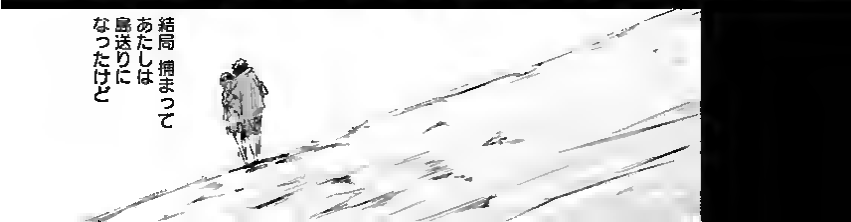
うちも
お母さんが
いないんだよね
そうなんだあ
お前は
どんくさい
からな
俺が見て
やらなきゃ
なっ？
ああうん

ニューウェイブだって
タカフミクンのお姉さんも連れて行かれたらしいぞ
泣いてた
お前も気を付けろよ
うん
どうやって…？
チカ
もう わたし
ボウ…
ヘンなチカラ出ちゃってるのに

事故だ！
子供が2人
ウウウウ
大丈夫…!?
ああ 血が…
流れて…！

ニューウェイブだ
発症してるぞ！
早く警察に
連絡だ！
あぁあ……
だ だめだ
捕まっちゃうよ
逃げよう
あっ……

そうだ


結局 捕まって
あたしは
皇送りに
なったけど

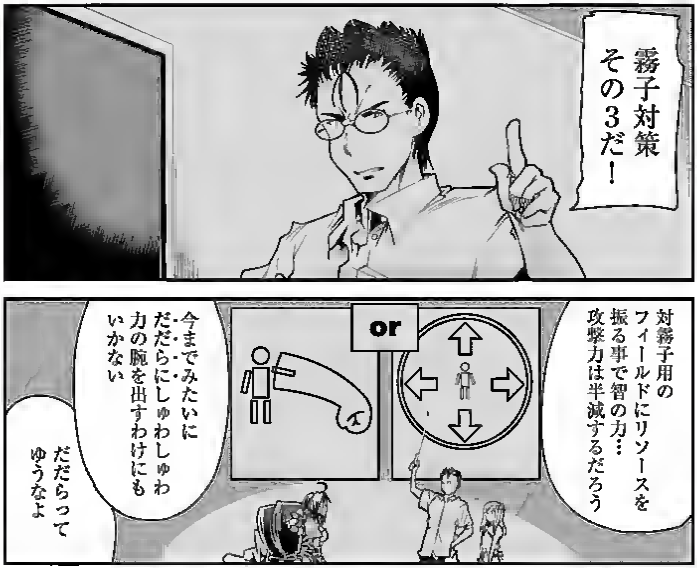
あの時

恐れもせずに
手を引いてくれた
男の子

こうなりゃっ…！
ぐおっ!?
おあにいさま！
諦めるな！
お前の能力が
生きる力なら
きっと
生きようとする限り
お前は負けない!!
お前と俺は
この……
邪魔を

するなぁッ!!!

うお……！
おおおおおお


霧子対策
その3だ！
対霧子用の
フィールドにリソースを
振る事で智の力…
攻撃力は半減するだろう
or
今までみたいに
だだらにしゅわしゅわ
力の腕を出すわけにも
いかない
だだらって
ゆうなよ

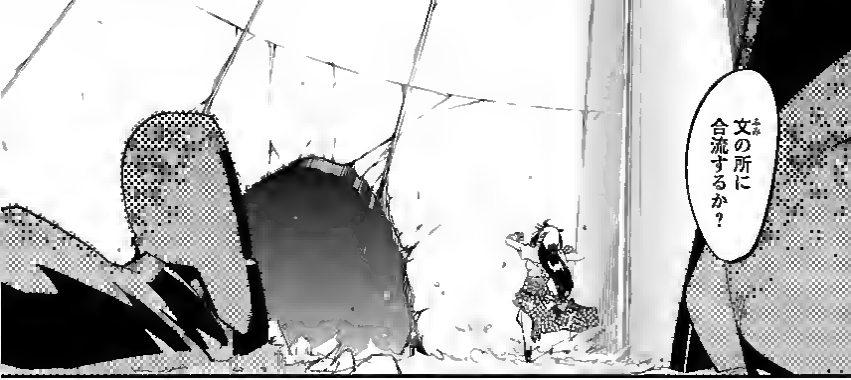
だから
一点突破だ
攻撃のインパクトの
瞬間に智の力を放つ！
出来るか？
智！
やってみせるぞー！

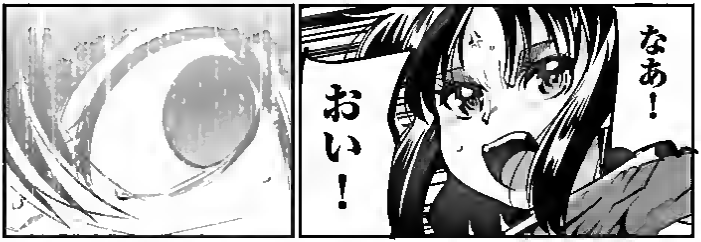
ゴッ
ドレ
ドレ

第17話／完

第18話

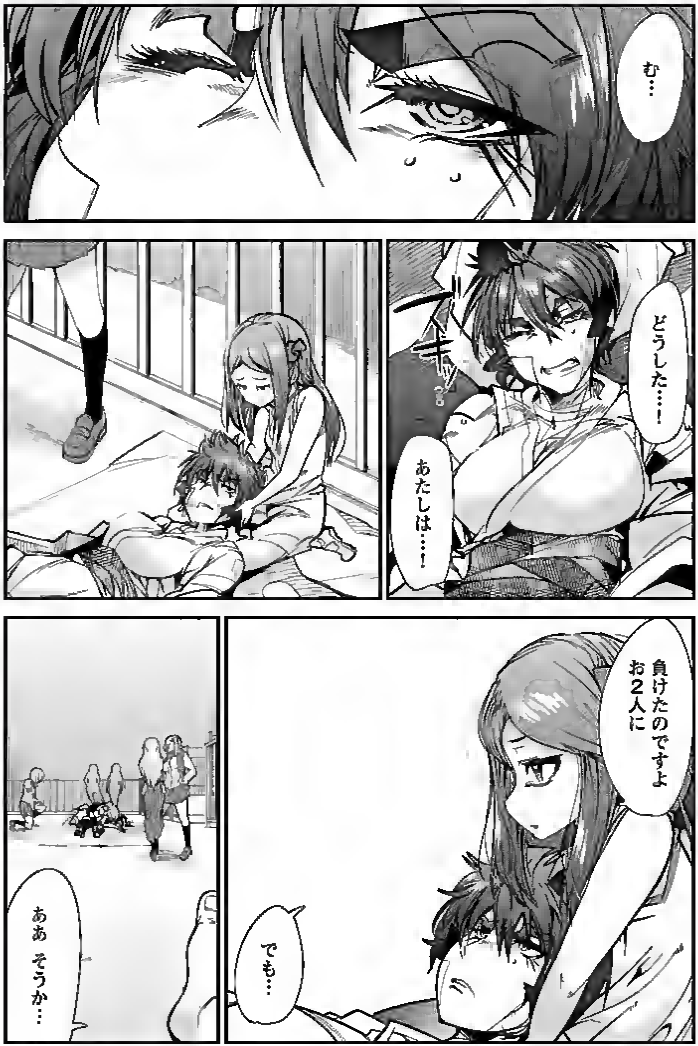
やったか…!?
やったぞ武!
やったあああ!
さあ
どうする!?
この妙な機械でも
ぶっ壊して
トンズラするか!?

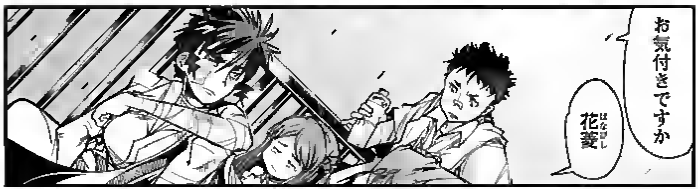

文の所に合流するか？


なあ！
おい！

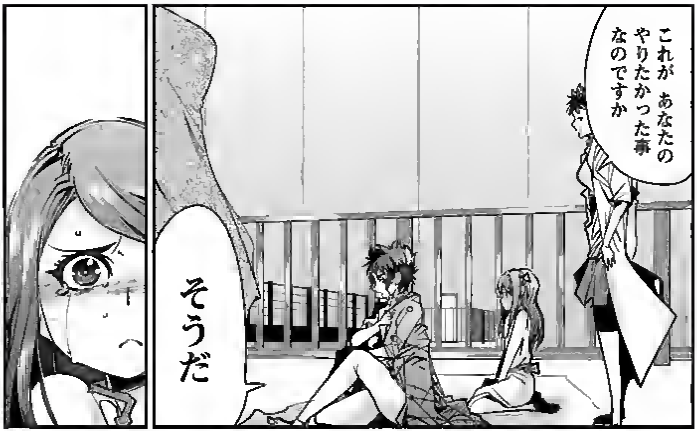
武…？

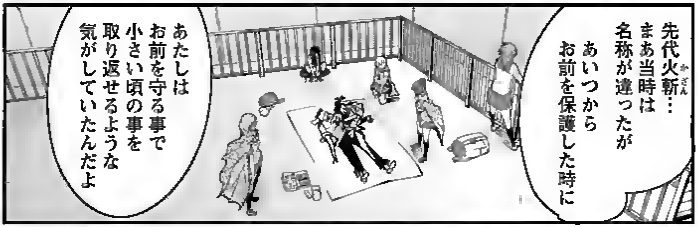
第18話「轟生」

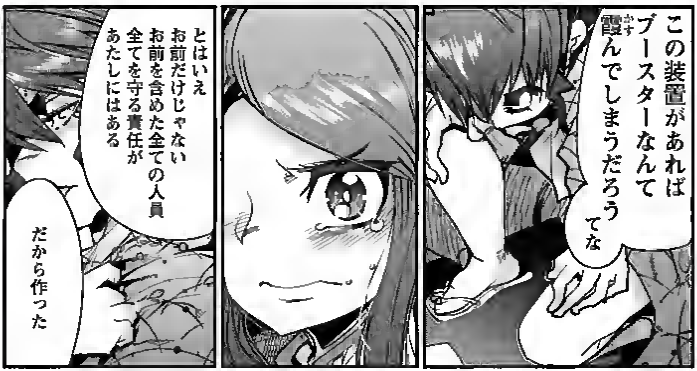

む…
どうした……！
あたしは……！
負けたのですよ
お2人に
でも…
ああ　そうか…


お気付きですか
花菱

義腕の方は
縛ってあります
大人しいもんでした
男の方は
まあ 残念ながら…
そうか
その 残念だ
…間抜けな
返答だな


これが あなたの
やりたかった事
なのですか
そうだ


先代火斬…
まあ当時は
名称が違ったが
あいつから
お前を保護した時に
あたしは
お前を守る事で
小さい頃の事を
取り返せるような
気がしていたんだよ


この装置があれば
ブースターなんて
霞んでしまうだろうな
とはいえ
お前だけじゃない
お前を含めた全ての人員
全てを守る責任が
あたしにはある
だから作った

脅威の
グレードを
上げた所で…
子供が
特別がるな

轟腕
轟腕

まあ いい
聞け
その 男は言った
お前の力が生きる力なら
生きようと思う限り
だれにも負けない
その通りだった
ああ 男にしちゃあ
大した奴だよ そいつは
死なすには惜しいよ

装置だ

だから
手伝ってやる
ぴと

何をする
つもりですか？

装置を
義腕に繋げる
カタカタ
その生命の力の流れに
装置の力を繋げて
西海に向ける
生きる力を
分け与えれば
あるいは…
死者蘇生って奴だ
やるだろう?

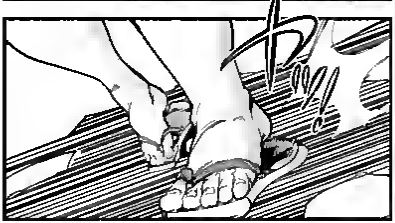
ばしっ!
お前が死にそうな顔じゃあ だめだろう
それでも私をぶちのめした女か?
私たちは何でも出来る 人を超えた新しい波だ
祈りや願いがそのまま力になる我々が
祈りと願いを叶える装置を作った
ならば
やる価値はある…!

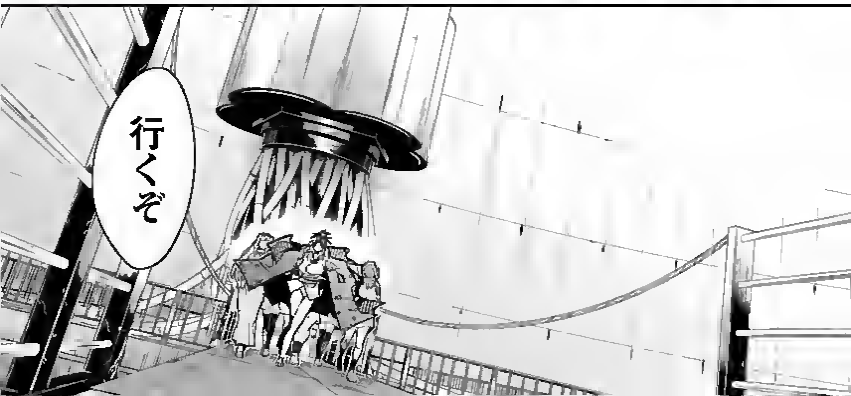
いいんですか？
今まで腕の良いヒーラーはいくらでも居たがな
生き返らせるなんて聞いた事はない
成功してみろ世界が変わるぞ
クチャ
次の段階に行ける！

本土侵攻ですか

はははは

まずは世界の協力者を回るさ
この島にはもう用はない
モニタしたデータは転送しとけ


ヤッ!!


行くぞ

キリコたちはどこかへ行ってしまいました…
しかし…
私たちは今出来る事をやりましょう…！
A-LINEからBCまで同調
レベルはグリーンを維持
回路繋ぎました
ピコン
どうぞ
どうぞったって…
あたしはばかで…
何をしたらいいのかわかんないよ

やるしか
ないんだよな
でも

武…！
頼むぜ武 武
私たちはまだ何も
始まっちゃあいない
だろうが
武

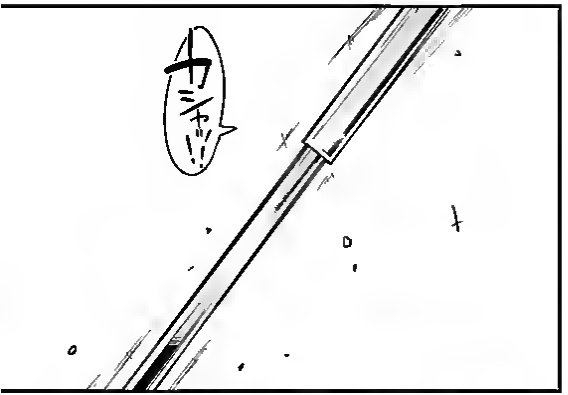
今まで2人で1人だったろう
何でも出来たろうが
今のあたしはまるで糸の切れた凧だ
寄る辺も知らぬ木の葉のようだ
フウン

何故こんな気持ちにさせる
ほんの少しの間だが
お前とは何か他人の気がしねえのさ
頼む
あたしの生きる力が必要ならば
いくらでもお前にくれてやる

智と武
2つの重なる
大円明の境こそ
世を生かす
大道の極地が
ある か…

まさか
こんな所に
居たとはな
来て貰うぞ
西海天河

3か月後


カシャッ!!

中国
モンゴル
カザフスタン!
パシッ!!

ニューウェイブ
隔離施設の防衛機構が
次々と無力化され
施設内の顔役が
次々と姿を消している
勿論 後に残るのは
大混乱だ

あいつらだな
羽馬霧子！
無力化を促した一団の辿ったルートから類推するに
次はここ
このまま北上して
ロシアだ

オオオ
最早 問題は
島内だけで済む
問題ではなくなった！
我々は団結して
国を越えて
奴らを追う！
非合法だが…
でも 誰かが
やらなきゃ
いけないだろう？

ふふふ
あの人
我々だって
智と装置で
生き返った
お蔵でちょっと
能力使えるのよ
ちんちん
取ってから
来い
ほほ
うるっさいな

ニューウェイブ専門の
地下試合の会場で
スカウトをしている
東洋の女を
見たという話だ
今のところは
そいつから
情報を辿るしかない
先行して
智とムシカ達を
潜入させて…
おい武
おお 導をすれば…
どうだ 様子は？

全ッ然
ダメだ

ムシカの奴
ロシア語 全然
喋れないんだもん
…母方が
ロシア人なだけで
喋れるとは一言も
言ってない…
ダーダーニェット
ダーニェットで
会話するのは無理だって！
ははははは！
うるさい！
…智 何て？
急いで
向かいますよ！

少女は生きる！

少年は生きる！

少女たちも生きる！
賢く
艶やかに
勇ましく
優しく
強く
優美に
可憐に！

少女よ
少年よ！
須らく生きよ
生命の声よ
島に 日本に
世界に響け!!
智！
やれるか!?
やらいでか武！
指示をくれ！
この物語
の名は

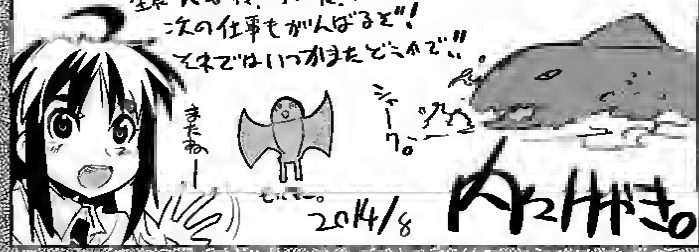
第18話 完

あとがきサンダーライガー。

こんにちは内村です。
とうとう三巻で最終巻です。
かなしい!でも買ってくれた人
ありがとう!うれしい!イーブン!

初めてのバトルまんがでしたが!!がそしたでしょうか。
これが少しでもすごく気になってくれたら良いです。
つづきはぼくが単巻で600万部ぐらい新刊売り上げたら
たぶんやってもらえるので2万年後ぐらいをメドに楽しみに
しておいて下さい。作者をそこまでかしぶけられたので良かったです。

こういうのできるのは通親社ねがではないかと。
ともかく1年半完走できました事感謝!でございます!
次作も宜しくね!単行本買ってね!



編集N、いつもありがとうございます。
源見N、さいごまでありがとうございました!馬肉おいしい!
スタッフ様もありがとうございますよ。
鎌田郎N、学人N、井口太郎N、稽吉しおN、
次の仕事もがんばるぞ"!
それではいつかまたどこかで!!

2014/8 内村。

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

女子轟生

3

内々けやき

©2015 内々けやき／少年画報社

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
http://www.ebookjapan.jp